

九州森林管理局における 林業事業体育成の取組



九州森林管理局

九州森林管理局
ホームページ



林業事業体育成PTの検討状況

(九州森林管理局HP掲載案)

素材生産事業の効率化と高付加価値化に向けた取組について

令和3年 月
九州森林管理局

今年6月に閣議決定された森林・林業基本計画において、「新しい林業」に向けた取組の展開の方向性が示されました。

このため九州森林管理局では、労働災害の防止、自然環境への配慮に加え、生産性の向上と資源の有効活用など林業のイノベーションに取り組む林業経営体を、国有林野事業の実行を通じて支援します。

このような支援を通じて、九州の林業経営体がトップランナーとして素材生産事業の効率化と高付加価値化を推進し、労働安全対策を強化しつつ収益性を向上させることを期待しています。

1. 優良事例の普及

- (1) 日報を用いた工程管理など生産性の向上や、需要に応じた採材など資源の有効活用のための工夫を行っている林業経営体の実施している事業地において、素材生産者、民有林行政担当者、有識者、局署担当者等による現地検討会を開催します。
- (2) 高い生産性を達成するなど優れた事例を国有林間伐・再造林コンクールで表彰するとともに、森林管理局のホームページでその取組を公表します。

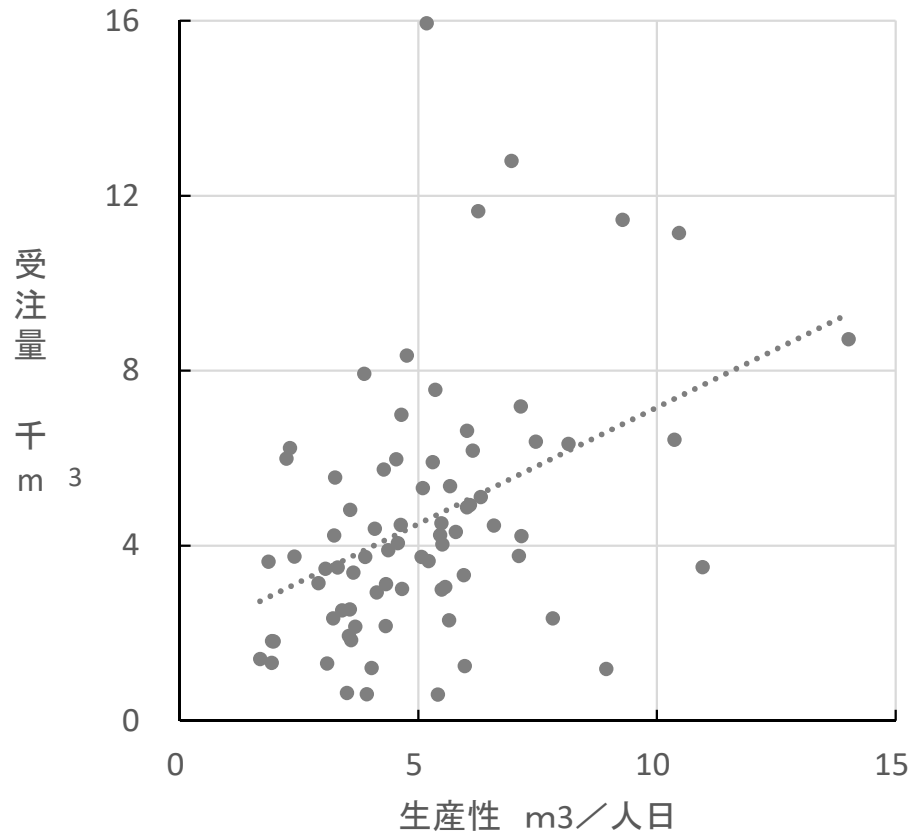
2. 林業経営体の自主的な取組への支援

- (1) 生産性の向上と資源の有効活用に向けた林業事業体の取組を、総合評価落札方式による発注や事業成績評定において評価します。
- (2) 作業工程毎の生産性や進捗状況の把握を容易にする新たな日報管理プログラム（エクセル）様式を配付し、分析に協力します。
- (3) 林業経営体の団体が行う勉強会などに対し、講師派遣や情報提供により協力します。

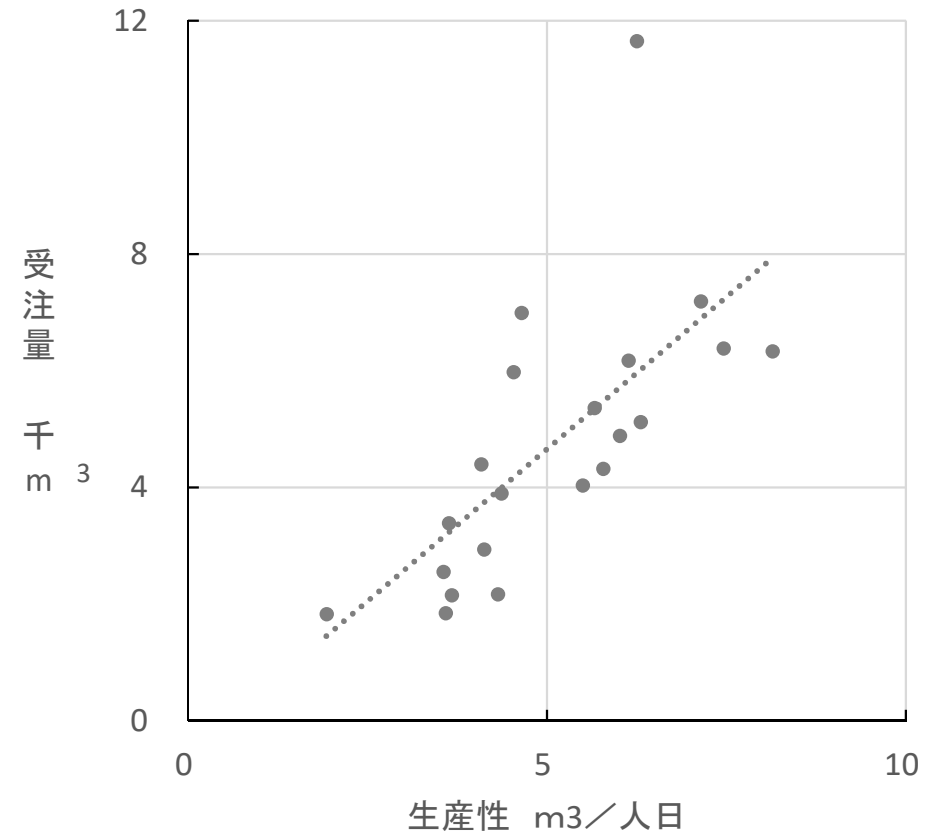
林業事業体育成PTの検討状況（生産性等の分析①）

車両系間伐の生産性が高い事業体ほど国有林からの受注量が多い傾向

車両系間伐の生産性と事業体の受注量
(令和2年度に車両系間伐を実施した全事業体)



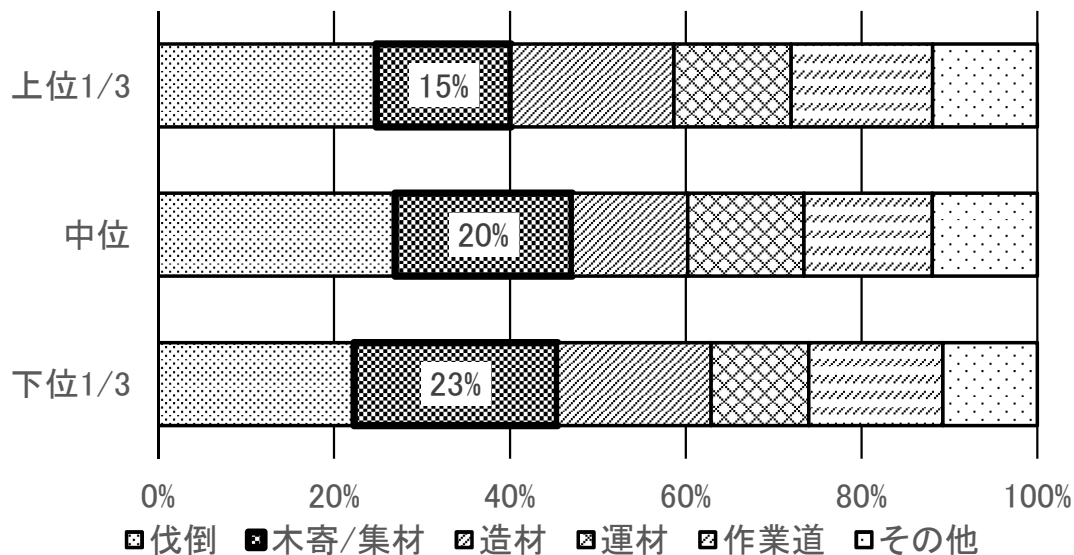
車両系間伐の生産性と事業体の受注量
(令和2年度に日報管理に協力した事業体)



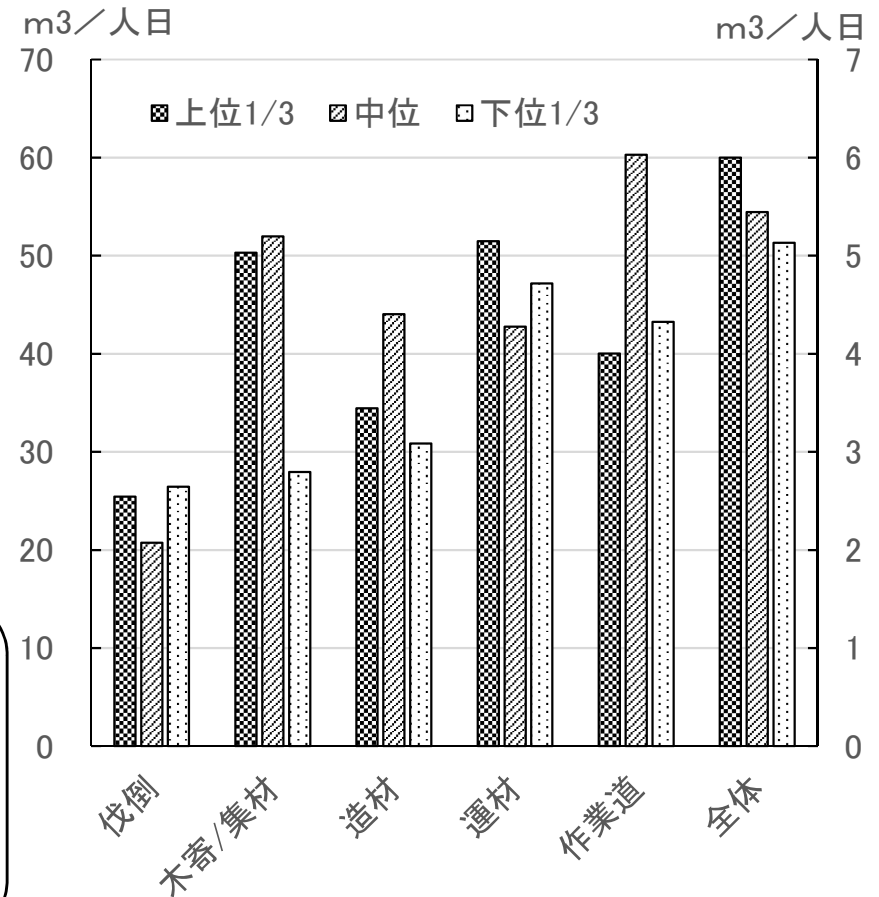
林業事業体育成PTの検討状況（生産性等の分析②）

生産性が高い事業体ほど木寄/集材工程にかかる人工の割合が少ない。
木寄/集材工程の生産性は、上位事業体と下位事業体の差が大きい。

工程別人工数の割合



工程別生産性



<木寄/集材工程の工夫事例>

- ・ スイングヤードをリモコンで操作、一人で荷掛とオペレーターの二役
- ・ 木寄せロープ先に補助ロープを設置、根株等への引っかかりを防止
- ・ 繊維ロープを使用、曳き回しの労働負担を軽減
- ・ スイングヤードによる伐倒同時集材で伐倒者が荷掛、一人二役

林業事業体育成PTの検討状況（優良事例の普及）

1. 局主催による現地検討会を開催

令和2年度国有林間伐・再造林推進コンクールで受賞した事業者のうち2社（四家造林(有)、(有)秋吉林業）を対象に開催

○開催場所

宮崎県（都城支署管内）、熊本県（熊本森林管理署管内）

○開催時期

令和3年11月中旬予定

○実施内容

生産性向上の必要性（局）、事業地の説明（署）、事業実行上の工夫（事業者）、作業状況の現地確認等、専門家から助言（鹿児島大学 寺岡教授、宮崎大学 櫻井准教授）

2. 林業事業者等が開催する勉強会等において、講師派遣や情報提供（林業事業体育成PT取組状況等）を実施